

第一学年 学年だよ!

十六中での生活が始まります!

晴天に恵まれた4月7日、満開の桜やさくら草が1年生を出迎えてくれました。緊張感に包まれた入学式では新入生代表の「誓いの言葉」が体育館に響きました。40期生の一人ひとりの心の中に「これから頑張りたい」という思いと中学校生活への期待が膨らんだことと思います。

「誓いの言葉」の最後は、「私たちは感謝の気持ちを大切に、三年間という限られた時間の中でより多くのことを学び経験していきます。そして、学び経験したことを精いっぱい活かしていくことをここに誓います」という言葉で結ばれています。

この言葉通り周りの方への感謝を忘れず何事にも全力で取り組む40期生であってほしいと心から思います。



始業式・対面式が延期になったので…

例年は入学式の翌日に始業式と対面式が行われていました。対面式とは、初めて会う2・3年生がみなさんの入学を祝ってくれるものです。

そこでは、新入生代表が「お礼の言葉」を語る予定でした。

この「お礼の言葉」は、毎年、先生方も含め全校生徒が楽しみにしているスピーチです。今後、当分の間、全校生徒が集まる機会がないので、この学年だよりに「お礼の言葉」の全文を掲載し、中学生になった新鮮な気持ちと決意を共有したいと思います。

春の桜とともに昨日私たちは第十六中学校に入学してきました。

とても広いグラウンドなどを見て新しく始まる中学校生活が楽しみで楽しみでたまりません。

学習やクラブ活動も小学校と異なると聞きました。

学習では、先生の話をしっかり聞き、テスト前にはしっかり復習をして頑張りたいです。教科ごとに先生が変わり、いろいろな先生方に教わるのが楽しみです。

クラブ活動は最も楽しそうで、最も大変そうでもあります。精いっぱい頑張りますので先生方や先輩方、よろしくお願ひします。

これまで仲の良かった友だちと教室が離れ、他の学校の友だちと一緒にになります。

みんなにとっても自分にとっても楽しい学校生活を送っていきたく思います。

本日はこのような対面式を開催していただき、本当にありがとうございます。

先生方や先輩方、この三年間をよろしくお願ひします

2020年4月8日 新入生代表

この言葉の通り「みんなにとっても自分にとっても楽しい学校生活」を40期生全員で創っていきたくですね。

そのためにも、「自分が言われていやなことは相手に言わない」「やられていやなことはやらない」(入学式の校長先生の言葉にもありましたね)という相手の立場に立って行動し、思いやりをもって接する学年になりましょう。